

神奈川県立横浜ひなたやま支援学校



平成25年4月に横浜市瀬谷区に開校した、知的障害の生徒を対象とした高等部単独の県立特別支援学校です。生徒は主に瀬谷区、泉区の他戸塚区、大和市、藤沢市から通学しています。3年生45名、2年生42名、1年生44名、計131名が在籍しています。『自己実現する人を学校・家庭・地域で支え、育む』ことが私達の基本理念です。「自己実現」は、子どもたちにとって少し難しい言葉ですが、「自分のやりたいことが出来るようになること」であり、そして「やったことの結果が自分だけでなく、他の人も幸せにすること」と説明しています。



もともと小学校だった校舎を改装・リニューアルしました。給食もあります。

マスコットキャラクター

ひなともちゃん

ひなた君

ひな虫



教育課程について

本校では、一人ひとりのニーズに応じた教育を行い、生徒の持つ可能性を最大限に伸ばすことを大切に考え、4つのスキル（人間関係形成スキル・日常生活スキル・社会生活スキル・余暇活用スキル）を獲得していくことを目標に教育課程を編成しています。

コミュニケーション



職業



チャレンジ



部活動



個々の生徒が自分の気持ちの安定などの課題に気が付き、円滑なコミュニケーションのとり方などを学びます。適切な人間関係を築いていくことをねらいとしています。

職場見学・体験や校内実習などを通じて、働くことについての学習や経験を進めます。働く意義を考え、必要な言葉遣いや社会でのマナーなども学びます。

卒業後の余暇活用スキル、生涯学習の充実、資格取得、検定など、生徒の興味関心の広がりを図ったり、目標を持って学ぶ内容を考えながら、自分で選択して取り組む時間です。

生徒の自発的・自主的な活動、共通の趣味・関心を持った仲間との共同した取り組みや切磋琢磨することにより豊かな人間関係を築き、充実した学校生活を送ることをねらいとします。

作業学習について

教育課程の一環として作業学習の時間を設けています。作業ユニットは、「ハウスワークユニット(クリーニングなど)」、「フードサービスユニット(パン製造販売など)」、「ビルメンテナンスユニット(屋内清掃など)」、「オフィスサービスユニット(印刷・製本など)」、「グリーンサービスユニット(農園芸作業など)」の5つを用意しています。

ハウスワークユニット



洗濯、アイロン、たたみなどのクリーニング作業、ベルマークや牛乳パック・ペットボトルキャップ、インクリサイクル作業を中心に、仕事をするために必要な態度や気持ちを育てます。

フードサービスユニット



製菓・製パンなどを手立てとして、問題解決能力や社会人として必要な態度やマナーを身につけることを目指しています。

ビルメンテナンスユニット



道具の扱い方や清掃方法を身につけながら、仕事をする上で必要なルールを学び、マナーを身につけることを目指しています。

オフィスサービスユニット



印刷・製本・印押し・名刺作成など、校内外からの受注作業を通して、「お客様により良いものを」という働く意欲や責任感を育てていきます。

グリーンサービスユニット



学校内の畑で大根などの野菜を栽培し、給食への提供や販売などの作業を通して、どんなことにも意欲や責任感を持って取り組めるようになることを目指しています。

卒業生の進路について

日々の学習や校外の実習で経験を積み、面談などを経て進路を決定します。卒業後は、企業で働く人や、地域の障害福祉サービスを利用して日中活動支援・就労支援事業所へ通う人、また職業訓練校等に進学する人がいます。

神奈川県立横浜ひなたやま支援学校

〒246-0034 横浜市瀬谷区南瀬谷 2-20 電話：045-300-5611(代表) FAX：045-303-2330

R5年4月作成